令和元年７月１日発行（毎月１回１日発行）通巻第659号

林業福島

No. 659

題字　公益社団法人福島県森林・林業・緑化協会
会長　齋藤卓夫

7
2019

監　　修■福島県農林水産部
表紙の写真■花　咲　く　水　辺

新たな森林管理に向けて

福島県森林組合連合会
代表理事会長　秋　元　公　夫

福島県森林組合連合会の運営にあたり、平素よりご支援、ご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

東日本大震災と東京電力福島第一原子力発電所の事故から八年目を迎えましたが、放射性物質の影響により野生キノコ等の出荷制限やしいたけ原木の利用が困難な状況が続いており、森林林業の再生は、未だ途上にあります。

昨年には、上皇上皇后両陛下をお迎えし第六九回全国植樹祭が南相馬市で開催され、復興に力強く歩む本県の姿と支援への感謝を発信し、本県の森林・林業の再興の更なる進展の大きな契機となるものと決意を新たにしたところであります。

さて、森林整備は、未だ震災前の水準まで回復していない中、森林・林業の再生を図る「ふくしま森林再生事業」の本格実施により、森林再生の姿が見えて参りましたが、まだ緒に就いたばかりです。本事業は、本県の森林・林業・木材産業を再生する上で、効果的で必要な事業です。復興創生期間後も取組むことが重要であり、継続に向けた取組みを進めていきたいと考えております。

本年五月には、平成から新しい令和の時代を迎えましたが、森林・林業においても大きな変化期であります。

我々森林組合系統が要望してまいりました「森林環境税」が決定され、今年度から県・市町村への森林環境譲与税が交付されます。また、森林経営管理法が四月から施行され「新たな森林管理システム」が開始されます。系統では、新たな制度の着実な実施を図り施業集約化や低コスト化を進め、国産材の安定供給を図り、林業成長化を一層推進する必要があります。

さらに、先人達が植林した森が成熟し、本格的な利用期を迎えており、再生可能な資源として「伐って、使って、植えて、育てる」という循環利用を再構築し、多面的機能を発揮しつつ、山村地域の活性化を図ることが重要であります。

森林・林業・木材産業は、直接的に従事する人だけでなく、国民の生活に密接に関連した営みで、多面にわたる役割と広がりを持った分野であり、国民から寄せられる期待も大きいものを感じております。

関係の皆様と連携・協力し、期待に応えうる森林・林業・木材産業の実現のため取り組んでまいりますので、一層のご支援、ご協力をお願い申し上げます。

《もくじ》

とびら
新たな森林管理に向けて
　福島県森林組合連合会
　　代表理事会長　秋　元　公　夫…1
会津若松市立大戸小学校緑の少年団
３年連続「福島県知事賞」受賞……2
県政コーナー
林業事業者の皆様へのお知らせ……３～４
優良団体・事業者等を表彰……5
「福島県林業協会」設立50周年記念講演を開催 …6
第48回全国林業後継者大会あいち2019に参加して …7
普及指導員通信……8
森連だより……9
林災防だより……10
木の文化を育む④……11
木材市況・ふくしま東西南北……12
はなしのひろば・お知らせコーナー……13

会津若松市立大戸小学校緑の少年団
3年連続「福島県知事賞」受賞

公益社団法人 福島県森林・林業・緑化協会 緑化推進局

第40回福島県緑の少年団活動実績発表大会において、会津若松市立大戸小学校緑の少年団が、３年連続となる福島県知事賞に輝きました。

本大会は、福島県緑の少年団育成協議会と当協会が主催し、緑の少年団の研鑽を目的に、少年団が１年間取り組んできた学習活動、奉仕活動、レクリエーション活動などについて審査を行い、優秀な成績を収めた少年団を表彰するものです。

大戸小学校緑の少年団は、自然観察活動などの他に、長さ80ｍに及ぶ花壇への草花の植栽や、一人二鉢ずつ菊の花を育てる活動などを地域住民と協力して実施している点が評価されました。また、同少年団は昨年度全国緑の少年団活動発表大会において、みどりの奨励賞（国土緑化推進機構理事長賞）を受賞し、第42回全国育樹祭（東京都）において表彰されました。

今回の審査結果は次のとおりです。

福島県知事賞
　会津若松市立大戸小学校緑の少年団／会津若松市立大戸小学校
福島県教育委員会教育委員長賞
　田村市立緑小学校みどりの少年団／田村市立緑小学校
関東森林管理局長賞
　会津若松市立川南小学校「ホタルの里」緑の少年団／会津若松市立川南小学校
福島県緑の少年団育成協議会長賞
　相馬市立山上小学校緑の少年団／相馬市立山上小学校
奨励賞
　喜多方市立第一小学校みどりの少年団／喜多方市立第一小学校
　大甕緑の少年団／南相馬市立大甕小学校
　猪苗代町立緑小学校緑の少年団／猪苗代町立緑小学校
　会津若松市立謹教小学校緑の少年団／会津若松市立謹教小学校
　大屋小学校みどりの少年団／白河市立大屋小学校

表彰式は、７月29日(月)、大玉村農村環境改善センターにおいて開催する第45回福島県緑の少年団大会の式典の席上で行います。

平成30年度活動風景（知事賞受賞大戸小）

平成30年度活動風景（知事賞受賞大戸小）

県政コーナー

林業事業者の皆様へのお知らせ

福島県林業振興課

「意欲と能力のある林業経営者」の登録を募集しています

１　森林経営管理制度（森林経営管理法）について

平成三一年四月一日に「森林経営管理法」が施行され、「森林経営管理制度」がスタートしました（下図）。この制度では、適切に経営管理が行われていない森林について市町村が所有者の意向を確認し、所有者から経営管理の委託を受けた場合、林業経営に適した森林については、経営管理を効率的かつ安定的に行う能力等を有すると認められる民間事業者（＝意欲と能力のある林業経営者）に経営管理を委託することとしています。「意欲と能力のある林業経営者」の登録・公表は都道府県が行うこととされており、福島県では「森林経営管理法」の施行に合わせて登録・公表を開始しました。

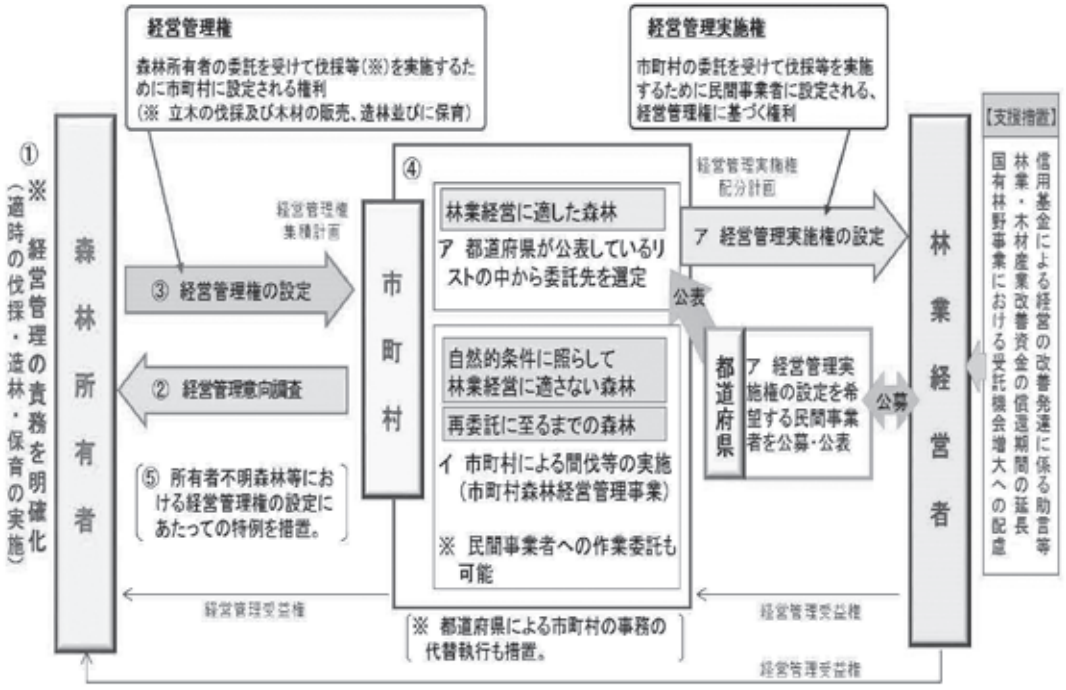
２　意欲と能力のある林業経営者について

「意欲と能力のある林業経営者」の登録を受けると、市町村から「経営管理実施権」の設定を受けられるようになり、所有者が自ら経営管理できない森林において、経営管理ができるようになります。また、林業・木材産業改善資金の償還期間の延長等、登録を受けた経営者に対する支援措置も講じられることとなっています。

３　登録申請方法

福島県内において造林、保育、素材生産等の林業生産活動を行っている方で、県で定める基準を満たす方は登録を受けることができます。森林組合、会社、個人経営等の経営の形態は問いません。登録に関する主な基準としては、「素材生産や造林・保育を実施するための実行体制の確保に関する基準」や「伐採・造林に関する行動規範の策定等に関する基準」などがあげられます。申請期間に制限はなく、随時募集を行っておりますので、登録を希望される方は、住所・所在地を管轄する各農林事務所（別表）までご相談ください。また、登録基準については、福島県ＨＰでも公表しています。

https://www.pref.fukushima.lg.jp/sec/36055c/ringyoukeieitai02.html



（図）森林経営管理制度全体の仕組み（林野庁資料）

「福島県林業・木材産業改善資金」のご案内

県では、林業に携わっている方や木材産業事業者の方が新たに事業を始める場合や、経営改善のために行う機械や設備の充実、働く環境の整備等の取り組みに対し、融資を行っています。貸付利率は無利子で、償還期間は十年以内（通常）です。融資をご希望の方は、お近くの農林事務所（別表）までご相談ください。

［対象となる事業の例］

○林業の開始・しいたけ栽培の開始
○高性能林業機械の導入
○販売管理システムの導入

伐木作業等の安全対策の規制が変わります！
～伐木作業等を行うすべての業種が対象～

伐木作業等における労働災害を防止するために、労働安全衛生規則の一部が改正され、伐木作業等における安全対策が強化されました。

林業、土木工事業や造園工事業など、業種にかかわらず、伐木作業等を行うすべての業種が対象となります。

○改正の主な内容

1　チェンソーによる伐木等の業務に関する特別教育について、伐木の直径等で区分されていた特別教育を統合し、時間数が増やされた。

〔労働安全衛生規則、安全衛生特別教育規程の改正（二〇二〇年八月一日施行）〕

2　伐木作業等における危険を防止するために、以下のとおり規定された。

〔労働安全衛生規則の改正（二〇一九年八月一日施行）〕

(1)　受け口を作るべき立木の対象を胸高直径四〇センチメートル以上のものから二〇センチメートル以上に拡大する等、立木の伐倒時の措置が義務付けられた。

(2)　事業者に対して、かかり木の速やかな処理が義務付けられたとともに、事業者及び労働者に対して、かかり木の処理における禁止事項が規定された。

(3)　事業者は、立木の高さの二倍に相当する距離を半径とする円形の内側には、当該立木の伐倒の作業に従事する労働者以外の労働者を立ち入らせてはならないこと等が規定された。

(4)　事業者に、チェンソーによる伐木作業等を行う労働者に下肢の切創防止用保護衣を着用させることが義務付けられた。

また、当該労働者に、当該切創防止用防保護衣を着用することが義務付けられた。

○改正に伴うチェンソーによる伐木等の業務に関する特別教育

労働安全衛生規則の一部改正に伴い、安全衛生特別教育規程が見直され、事業者は労働者に二〇二〇年八月一日以降もチェンソーによる伐木等の業務に継続して従事させるためには、統合後の特別教育の科目の一部（補講）を受講させる必要があります。

また、受講させる補講の科目は、過去に修了した特別教育によって異なります。

なお、補講は林材業労災防止協会福島県支部などで実施しております。

◆補講についての情報

林材業労災防止協会福島県支部までお問い合わせください（電話番号：〇二四―五二二三―三三〇七）。ホームページにも補講の日程などの情報が掲載されています。

◆労働安全衛生規則、安全衛生特別教育規程の改正についての情報

福島労働局、労働基準監督署までお問い合わせください。厚生労働省のホームページにも情報が掲載されています。

区　　域	事務所名	電話番号
県北地区 （福島市、二本松市、伊達市、本宮市、伊達郡・安達郡の町村）	県北農林事務所 森林林業部	024－521－2632
県中地区 （郡山市、須賀川市、田村市、岩瀬郡・石川郡・田村郡の町村）	県中農林事務所 森林林業部	024－935－1362
県南地区 （白河市、西白河郡・東白川郡の町村）	県南農林事務所 森林林業部	0247－33－2123
会津地方 （会津若松市、喜多方市、耶麻郡・河沼郡・大沼郡の町村）	会津農林事務所 森林林業部	0241－24－5733
南会津地方 （南会津郡の町村）	南会津農林事務所 森林林業部	0241－62－5372
相馬地方 （相馬市、南相馬市、相馬郡の町村）	相双農林事務所 森林林業部	0244－26－4305
双葉地方 （双葉郡の町村）	富岡林業指導所	0240－23－6084
いわき地方 （いわき市）	いわき農林事務所 森林林業部	0246－24－6192

（別表）各農林事務所の問い合わせ先

優良団体・事業者等を表彰

公益社団法人福島県森林・林業・緑化協会

令和元年六月十三日（木）、当協会の通常総会を開催し、優良団体・事業者等表彰を行いました。表彰は、優良森林土木工事等、緑化功労者、ふくしま森づくり大賞からなり、当協会齋藤卓夫会長から表彰状と記念品を授与しました。

令和元年度通常総会

優良森林土木工事等表彰

優良森林土木工事等表彰は、林道の維持管理状況が優秀な路線を管理する市町村を表彰するとともに、森林土木工事における施工技術の向上、工事の安全施工の確保及び技術者の育成を目的に毎年実施しており、林道維持管理コンクール一市、優良森林土木工事部門十社、優秀工事監督者部門十名を表彰しました。

表彰の対象とする森林土木工事、請負者及び現場責任者は、地方林業協会から推薦のあった平成三〇年度の施工に係る森林土木工事で、県及び当協会で構成する表彰審査会の審査において、受賞者を選考しました。

緑化功労者

緑化功労者は、緑化活動に永年にわたって貢献し、その功績が顕著であった方を表彰するもので、南会津地方緑化推進委員会から推薦があった一名を表彰しました。

ふくしま森づくり大賞

ふくしま森づくり大賞は、森づくり活動や森林文化の継承を通して、緑豊かなふくしまの創造に貢献した優れた個人や団体に対し表彰するもので、森づくり大賞は森林文化振興部門、森づくり活動部門でそれぞれ一名を、また奨励賞に森づくり活動部門で一名を表彰しました。

表彰者は、ふくしま森づくり大賞審査委員会において、市町村や地方緑化推進委員会、福島県林業会議構成団体から推薦のあった候補者から選考しました。（各賞の受賞者は、当協会のホームページをご覧ください。ホームページアドレス https://www.fukurin-net.jp/）

受賞者から、今後の抱負などを伺いました。

☆優良森林土木工事　治山事業の部
大和田建設株式会社
代表取締役　大和田利則 様
・受賞したお気持ち
――治山の経験を生かした長年の努力の結果だと思います。
・今後の抱負
――これからも受賞できるよう良い現場を目指します。

☆優良森林土木工事　林道事業の部
後藤建設工業株式会社
代表取締役社長　後藤　英之 様
・受賞したお気持ち
――大変光栄に思います。
・今後の抱負
――今回の受賞を励みとして、今後もより質の高い施工管理を会社一丸となって取り組んでまいります。

表彰式

大和田利則様への授与

後藤英之様への授与

浜津浩美様への授与

☆優秀工事監督者の部
株式会社磐梯園　浜津　浩美 様
・受賞したお気持ち
――うれしいの一言です。
・今後の抱負
――今回の受賞を励みに、さらに良い成果品を作っていきたいと考えております。

当協会は、県土の保全、地域の安全・安心を確保するために日々研鑽を重ねている事業者等の功績を広く県民にお知らせするとともに、広く県民の森づくり活動への参加意識の高揚を図り、多様な主体による森づくり活動を促進するため、これからも表彰事業を続けてまいります。

「福島県林業協会」設立五〇周年記念講演を開催

また、本年は当協会の前身団体の一つである社団法人福島県林業協会が発足して五〇年目に当たることから、これを記念して講演会を開催しました。

林野庁の大政康史治山課長を講師にお迎えし、「森林分野における国土強靱化に向けた三ヵ年対策について」と題して、国土の特徴と歴史、治山事業の概要、平成三〇年災害への対応、今後の効果的な治山対策について、スライドや動画を使いながら説明いただきました。毎年のように山地災害により甚大な被害が発生している折、会場の参加者は熱心に耳を傾けました。

講演の様子

夏休み親子キノコのふしぎ体験ツアー 参加者募集

親子できのこの収穫や調理を楽しむ、体験ツアーの参加者を募集します。

1　開催日程

令和元年８月３日（土）

９：00　きのこ振興センター出発
　　菌床しいたけ栽培見学と収穫体験（本宮市）
　　菌床なめこ栽培見学と収穫体験（二本松市）
11：45　きのこピザつくりと昼食（二本松市）
14：15　逢瀬公園・総合緑化センター（郡山市）
　　森ときのこの学習
15：30　きのこ振興センター着
　　菌床のプレゼントと発生方法説明など
16：00　解散

2　対 象 者

・県内在住の小学生とその保護者。
　原則親子２名で１組とします。
・出発時間までにきのこ振興センターに集合できる親子。

3　募集人数

親子10組（20名程度）

4　参 加 費

無料

ナメコのピザ作り

5　申込方法

きのこ振興センターにお電話ください。折り返し申込用紙をお送りします。

（公社）福島県森林・林業・緑化協会ホームページも合わせてご覧ください。

6　お問い合わせ先

（公社）福島県森林・林業・緑化協会
きのこ振興センター
郡山市安積町成田字西島坂７－２
電話　024－947－2188

第四八回全国林業後継者大会あいち二〇一九に参加して

福島県林研グループ連絡協議会　早矢仕　恵　子

令和元年六月一日、愛知県豊田市で第四八回全国林業後継者大会が行われました。

福島県からは林研グループ連絡協議会会長豊田さん、顧問の蛭田さん、副会長の私と三名の参加となりました。会場は愛知県豊田市コンサートホールにて行われました。

オープニングはパイプオルガンの演奏でＪ・Ｓ・バッハ「トッカータとフーガニ短調ＢＷＶ５６５」で始まり、重厚で格調高い雰囲気が漂いました。

その後、開会式典は愛知県実行委員会会長の斎藤憲生様などの挨拶があり、活動発表に入りました。安城農林高校森林環境科から参加した三名の発表では、主に森林の管理、経営や多面的機能、利用方法について報告されました。

次に一般社団法人奏林舎代表理事の唐澤晋平さんの発表があり、唐澤さんは東北で森林環境教育に携わり山村振興には「林業が産業としてなり立つ仕組みが必要」と考え、岡崎市で額田木の駅プロジェクト実行委員会の設立、運営を経て「奏林舎」を設立し、森林の調査・整備・木材販売を行う青年林業士として活躍しています。

里山の荒廃と村の衰退が現実で、歯止めをかけたいと報告されました。

次に合同会社新城キッコリーズ代表社員の田實健一さんが発表。災害に強い森林つくりに興味を持ち新城市内にて林業、森林整備に従事したのち地域密着型の森林業を目指し、小、中、高学校向けの林業体験や森林環境教育にも力を入れています。

続いて豊田森林組合現場技能者塚田大輔さんの報告は祖父と父も林業に関わり自分も地元の森林組合に就職し、主に伐採を担当し週末は自身の所有する山林の手入れもする、何よりも地域の人々との関わりを大切にしたいと発表されました。

この活動発表の中で、やはり愛知県は都会なので高等学校も森林環境科があり、しかも生き生きと活動報告をしていたのが印象的でした。

続いてパネルディスカッションに入り、コーディネーターの元名古屋大学助教近藤稔先生の進行で地元農林高校、森林組合、林業会社の関係者を交えて、ディスカッションが行われました。特に印象に残ったことは若い高校生が希望をもって林業界に進みたいということです。多様性があり林業はチームプレーであり、仲間を大切にすること、などの話も出ました。

色々な仕事を経験したが、林業が一番優れている、その理由として、やりたいこと、したいこと、山主にしか見えない景色がある。そして林業は個性があるので模索しながら進むことの大切さがある。

大会の様子

活動発表

など、いろいろな意見が熱く語られました。林業の仕事をしていて、そしてたまに偶然が重なり旨く行く時がある、その瞬間がたまらいない、と話をしていたのがとても印象に残っています。

普及指導員通信

相馬管内におけるカシノナガキクイムシ被害の沈静化に向けた取組について

相双農林事務所
林業普及指導員　石　井　康　洋

１．はじめに

相馬管内におけるカシノナガキクイムシ被害は平成25年度に相馬市で初めて確認され、平成29年度末時点では全４市町村で確認されています。

被害量は平成25年度から平成27年度までは100㎥未満で推移していましたが、平成29年度には2,113㎥と大幅に増加し、早急な対応が必要となっています。

管内市町村では被害の沈静化を図るべく、平成30年度から被害木の伐倒駆除を実施することとなりましたが、管内の市町村は森林行政に長く携わる職員はほとんどいないことなどから、カシノナガキクイムシの伐倒駆除に関する情報が不足している状況であり、また、管内の林業事業体はカシノナガキクイムシ被害木の伐倒駆除の経験がないことから、早急な駆除・防除技術の普及が必要となりました。

そのため、相双農林事務所では現地研修会を実施するなど、必要な知識及び技術の普及を図るとともに、事業実施の支援を行っていますので、その取組を紹介します。

２．カシノナガキクイムシの駆除・防除技術の普及及び事業実施の支援

カシノナガキクイムシの駆除・防除を効果的に行うためには、被害発生のメカニズム及びカシノナガキクイムシの生活環などの情報が非常に重要であることから、各市町村担当者を対象に説明を行い、技術の普及に努めました。その結果、適切な被害量の把握や駆除計画のスムーズな立案に繋がりました。

伐倒駆除の具体的な実施方法等については、各市町村担当者及び林業事業体を対象に平成30年度及び令和元年度に現地研修会を開催し、技術の普及を図りました。

平成30年度の現地研修会では、事務所担当者の説明に加え、薬剤メーカーの担当者に講師を依頼するなどし、伐倒駆除作業の基本的な作業方法、薬剤の取扱方法等についての普及を図りました。

令和元年度の現地研修会では、平成30年度の実施結果をふまえ、伐採からくん蒸・被覆までの一連の作業を現地で実施し、写真撮影の方法や管理書類の作成方法等について指導を行うなど、より具体的な研修の実施に努めました。受講者からは株立ちしている被害木の被覆の仕方やノコ目の入れ方等、多くの質問が寄せられ効果的な研修ができたものと考えており、今後の適切な伐倒駆除の実施に繋がることを期待しています。

令和元年５月17日　現地研修会

３．おわりに

平成30年度及び令和元年度にカシノナガキクイムシの伐倒駆除を行うことにより、次年度以降の被害拡大防止に一定の効果は期待されるものの、被害の沈静化には継続した粘り強い取組が必要と考えられるため、次年度以降も現地研修会等を継続して実施するなど技術の普及を図るとともに、適切な伐倒駆除計画の立案を支援し、相馬管内の被害の早期沈静化に取り組みます。

森連だより

第68回 通常総会開催

福島県森林組合連合会

当会第六八回通常総会は、去る五月二八日福島市杉妻会館において開催いたしました。

開会に先立ち森林組合の基本理念である森林組合綱領唱和を行って総会が始まり、秋元公夫代表理事会長の挨拶に続いて各部門の系統利用優良組合・永年勤続役職員の表彰と本会退任役員へ感謝状の贈呈が行われました。

議長には、佐藤長平飯舘村森林組合代表理事組合長が選出され、議事に入りました。

平成三〇年度は、当会の中期経営三ヶ年計画が最終年度となることから、森林組合系統運動方針「Ｊ　Ｆｏｒｅｓｔ森林・林業・山村未来創造運動～次代へ森を活かして地域を創る～」の理念に即して、主要課題の着実な実行に向けて役職員一丸となり取り組みを図り、事業成果を納めるとともに、決算においても目標を上回る実績となりました。

平成三一年度を始期とする新たな「中期経営三ヵ年計画」が承認され、事業運営課題を個別事業毎に新たな視点から見直しを行い、事業計画においては、組織経営基盤強化を図り、安定した揺るぎない体制の構築に努めることとし、引き続き「森林組合及び組合員の経営安定のための支援」や「本会組織体制整備に取り組む」こととしております。

さらに、森林整備は、未だ震災前の水準まで回復していない中、森林整備推進の大きな柱であるふくしま森林再生事業の着実な実施に向けて系統が連携して取り組みを進め、本県の森林・林業の再興、発展に尽力することとし、あわせて、各部門の事業計画においては、新たな事業展開の検討を進めながら系統全体として着実な実施を図ることとしました。

続いて、辞任に伴う役員の補選が行われ、監事一名を選任しました。

新任監事　渡部　儀一（下郷町森林組合長）

総会においての表彰者は次のとおりです。

【表彰者名簿】

○平成三〇年度系統利用優良組合

販売部門　いわき市森林組合

購買部門　ふくしま中央森林組合

森林保険部門　相馬地方森林組合

○感謝表彰

國井　常夫（前県森連代表理事会長）

武田　春男（前県森連監事）

○功労者表彰

永年勤続役員（勤続十二年以上）

安藤　喜勝（郡山市森林組合）

勝又　俊博（郡山市森林組合）

末永　精一（双葉地方森林組合）

渡部　一美（双葉地方森林組合）

荒　利喜（飯舘村森林組合）

永年勤続職員（勤続三〇年以上）

黒沢　昭次（福島県北森林組合）

伊賀　清徳（相馬地方森林組合）

永年勤続職員（勤続二〇年以上）

瀬谷　美斗（ふくしま中央森林組合）

中村　寛寿（いわき市森林組合）

永年勤続技術班員（勤続五年以上）

佐藤　隆昌（福島県北森林組合）

関　一（会津若松地方森林組合）

国井　直秋（会津北部森林組合）

渡部　武弘（会津北部森林組合）

長嶺　和馬（会津北部森林組合）

表彰の様子

秋元代表理事会長挨拶

林災防だより

林業・木材製造業労働災害防止協会　福島県支部

年度始めより林業事業体の方々には「伐木等の業務に係る特別教育」を当面中止していることをお詫び申し上げます。

さて、今年２月に労働安全衛生規則の一部が以下のとおり改正され、これまでに受講された方（「チェーンソーによる伐木等の業務に関する特別教育」）に、伐木作業等における危険を防止する補講講習を行うことが規定されました。

労働安全衛生規則の一部が改正内容

1　受け口を作るべき立木の対象を胸高直径40㎝以上のものから20㎝以上に拡大する等、立木の伐倒時に措置を義務づける

2　事業者に対して、かかり木の速やかな処理を義務付けるとともに、事業者及び労働者に対して、かかり木の処理における禁止事項を規定

3　事業者は、立木の高さの２倍に相当する距離を半径とする円形の内側には、当該立木の伐倒の作業に従事する労働者以外の労働者を立ち入らせてはならないこと等を規定

4　事業者は、チェーンソーによる伐木作業等を行う労働者に下肢の切創防止用保護衣を着用させること。また、当該労働者に、当該切創防止用保護衣を着用することを義務づける

この規定により補講講習内容や講習時間、受講する期間などが決められ、当支部では現在、補講講習の日程を関係機関に知らせるなど、受講対象者への周知に努めております。詳細は当支部のホームページに掲載しておりますが、この紙面をかり、関係する皆様にお知らせします。(http://www.fmokuren.jp/)

1　受講する期間は、令和元年７月～令和２年７月末まで

2　補講内容は過去に受講した特別教育により異なります。

当支部実施（安衛則36条第８号）の修了者は次のとおり

⑴　学科科目は造材の方法、下肢の切創防止用保護衣等の着用で１時間
　　安衛法、安衛令及び安衛則中の関係条項で１時間

⑵　実技科目は下肢の切創防止用保護衣等の着用で0.5時間

3　補講講習日程

日　時	場　所
７月26日(金)	福島空港公園　緑のスポーツエリア
８月23日(金)	同　上
９月５日(木)	会津アピオ　アピオスペース
９月18日(水)	あづま総合運動公園
10月11日(金)	会津山村道場　森の体験館
10月25日(金)	福島空港公園　緑のスポーツエリア
11月15日(金)	テクノアカデミー浜
11月29日(金)	福島空港公園　緑のスポーツエリア
12月11日(水)	会津アピオ　アピオスペース

問い合わせは024－523－3307　林材業労働災害防止協会福島県支部まで

木の文化を育む④

大工仕事と木の魅力を伝える（福島県建築大工業協会青年部）

郡山女子大学 人間生活学科 建築デザインコース 准教授　阿　部　恵利子

○はじめに

地域の大工職人が地域で採れた木材を使って家を建てる。日本の住宅産業は本来、地場産業として地域経済を活性化させる役割も担っていました。地域に伝わる伝統的な建築技術や住宅様式、生活文化を後世に伝えることが難しくなってきている今日、福島県建築大工業協会青年部は、住宅関連のイベントをとおして、木の家の良さや大工仕事の魅力を伝える様々な取り組みを行っています。木の文化を育む④では、一般社団法人福島県建築大工業協会青年部副部長、木造工舎代表 伊藤大輔さんにお話をうかがいました。

○「青年部」の活動

福島県建築大工業協会青年部では県内各地の大工・工務店経営者、約三〇名が活動しています。技術の向上、知識の研鑽のために、毎月ミーティングの機会を持ち、勉強会や講習会、イベント参加の企画、建築業界の情報交換を行っています。また、全国でも先進的な研究を行っている北方建築総合研究所（北海道・旭川）を訪問し、省エネルギーや断熱技術を学んだり、独創的な活動を行っている熊本県の工務店を視察したり、遠方での研修も積極的に行っています。

○住宅イベントへの参加

住宅関連のイベントでは、木工製作の他、県産材の杉を使用した実物大の構造模型を展示したり、大工道具の「かんな」や「のみ」、「のこぎり」の実演や体験を企画したりしています。また、子ども向け職業体験イベントでは、木の家の良さや大工仕事の魅力を伝えるために、子ども達と一緒に、大工道具を使用したり、木材を組み上げたりするほか、子ども達が実際の現場と同様の体験ができる「上棟式」を企画し、餅の代わりにお菓子を撒いて、大変好評を得ています。

○森林ツアーの開催

「福島の木の魅力」を発信するため、小学生を対象に、森林ツアーも実施しています。

二本松市内の小学生と森の中まで足を運び、大きな木を伐採する現場を視察した後、製材所にて建築用製材に加工されるまでの一連の様子を見学しました。子ども達は山に立っている木が、建築用製材に加工されるまでの流れについて説明を受け、森の木を伐採して建物を建てていることや製材して使用するまでの過程を実際に目で見ることで、自然の大切さや建物が建つまでの仕組みを学びます。

製材所見学の後、子ども達は製材された木を使用し、大工さんと一緒に木工製作体験をして、楽しく充実した時間を過ごしました。

将来、福島の住まいづくりを担う子ども達が成長すること、また、木の家の良さや大工仕事の魅力が多くの地域の皆さんに伝わることで、地域に伝わる伝統的な建築技術や住宅様式、生活文化を後世に伝えるとともに、住まいづくりが地場産業として地域経済の活性化に繋がることを願っております。

上棟式体験

ミーティング

森林ツアー

子ども向け職業体験

製材所見学

「かんながけ」実演

木材市況

三月の原木市場への入荷量は、前月比八パーセント減（前年比二パーセント増）の三一、六四一立方メートルとなっている。

販売量は、前月比九パーセント減（前年比変わらず）の三一、〇七五立方メートルとなっている。

四月の価格は保合いとなっている。

素材の価格〈工場着価格〉（2019年４月15日現在）

（単位：㎥当り千円）

区分		形量 径(cm)	形量 長さ(m)	材質	樹種	中通り地方 当月	中通り地方 前月差	会津地方 当月	会津地方 前月差	浜通り地方 当月	浜通り地方 前月差	県平均 当月	県平均 前月差
一般用材	小	5～9	4.00	並	スギ	10 (10～10)	0	(0～ 0)		10 (10～10)	1	10 (10～10)	1
		10～14		並	スギ	13 (12～13)	0	(0～ 0)		14 (12～15)	2	13 (12～15)	0
	中	14～22	3.00	並	スギ	12 (12～13)	△1	12 (12～12)	1	12 (12～13)	0	12 (12～13)	0
				並	ヒノキ	19 (16～22)	0	(0～ 0)		17 (16～17)	1	18 (16～22)	1
			6.00	並	スギ	16 (15～17)	△1	10 (10～10)	△3	18 (17～18)	1	16 (10～18)	1
				並	ヒノキ	30 (25～35)	0	(0～ 0)		22 (20～25)	1	26 (20～35)	1
		20～28	3.65	並	スギ	11 (11～12)	△1	12 (10～14)	1	13 (12～15)	1	12 (10～15)	0
			4.00	並	スギ	11 (11～13)	△1	11 (11～11)	0	13 (12～14)	1	12 (11～14)	0
				並	アカマツ	9 (7～12)	△1	(0～ 0)		10 (9～11)	0	9 (7～12)	△1
			1.80	並	アカマツ	8 (5～11)	0	(0～ 0)		10 (9～12)	2	9 (5～12)	1
外材	米材（定尺）	30以上	10.00	並	米ツガ	(0～ 0)		(0～ 0)		30 (30～30)	1	30 (30～30)	1
				並	米マツ	(0～ 0)		32 (32～32)	△7	28 (28～28)	△1	30 (28～32)	△2
	北洋材（定尺）	28以下	3.80	並	エゾマツ	(0～ 0)		(0～ 0)		25 (25～25)	△2	25 (25～25)	△2
			4.00	並	アカマツ	(0～ 0)		(0～ 0)		25 (25～25)	0	25 (25～25)	0
				並	カラマツ	(0～ 0)		(0～ 0)		25 (25～25)	△2	25 (25～25)	△2
パルプ用材				並	マツ	7 (7～ 7)	0	(0～ 0)		7 (7～ 7)	1	7 (7～ 7)	1
				並	広葉樹	10 (10～10)	0	(0～ 0)		(0～ 0)		10 (10～10)	2

区分	形量 径(cm)	形量 長さ(m)	材質	樹種	会津共販 当月	会津共販 前月差	いわき 当月	いわき 前月差
一般用材	12以下	4.00	並	カラマツ	(0～ 0)		7 (6～ 9)	0
	13～14		並	カラマツ	(0～ 0)		8 (7～ 8)	0
	16以上		並	カラマツ	(0～ 0)		10 (9～11)	0

注）１．前月差の△印は値下りを示す。
２．（ ）内は各地域の価格幅、（ ）外は各地域の平均的価格を示す。
３．一般用材カラマツは工場着価格ではなく、福島県森林組合連合会の会津共販所・いわき木材流通センターの素材市売価格を示す。
４．各地域の価格について、異常値が生じた場合には県平均算出から除く場合がある。

ふくしま東西南北

喜多方市御清水稲荷神社

会津農林事務所森林林業部　主査　山河　周

会津農林事務所森林林業部森林土木課の親睦会は「おしみず会」と言います。おしみずとは、喜多方市役所に隣接する地区の地名で、御清水稲荷神社や御清水公園があります。稲荷神社は、境内はこじんまりとしていますが、鳥居や狛狐、石碑等があり、明るい雰囲気で、手入れが行き届いております。神社の創建等について調べてみましたが、約三～四〇〇年とのことでした。鳥居をいくつか抜けたところにある狛狐は、金網で覆われてよく見えませんが、造形から少し歴史が感じられます。地元の人によると、春には神社の周りの桜が見事だそうです。名の由来と思われるおしみず観音像のある泉からは、常にきれいな水がわき出ており、透明度の高い池には、魚影が多数見られます。道路を挟んだ隣には公園があり、それほど広くはありませんが、いつも親子連れや、会社員が休憩している姿が多く見られ、地元の憩いの場となっております。

近くには、朝七時台の開店が有名な喜多方ラーメン店や、多数の飲食店及び飲み屋がありますので、喜多方市お立ち寄りの際は、足を運んでみて、ひとときを過ごしてみてはいかがでしょうか。

おしみず観音と泉

御清水稲荷神社

泉の魚影（ニジマス？）

御清水公園

はなしのひろば

ラジオ体操

時季はずれに気温が三〇度にも近い日々が続いたと思ったら、今度は強い雨が降る。豪雨災害は困るが、雨が降ると緑が洗われ、熱がこもった大地や道路はまた平熱に戻る。いいお湿りだと歓迎する。今年の東北南部の梅雨明けは、六八年間の気象データーによると、七月十八日から二八日の間らしい。時期的には学校が夏休みに入る頃と重なる。

小学生の頃は、夏休みに入ると子供会が七月末まで神社の境内でラジオ体操をおこなっていた。朝の神社の境内は、サクラの大木でいい案配の緑陰があり、交差しあう蝉時雨とラジオ体操の音楽を聞きながらの日課であった。体操が終了するとカードにハンコを押してもらい、最後にお菓子をもらえたことを懐かしく思い出す。

ところで、このラジオ体操に第三があるのをご存じだろうか。この第三は、体を大きく動かし、複雑で躍進的な動きが多かったので、音声放送ではその動きを伝えることが難しく、普及しなかったといわれている。第一は、誰もができる体操、第二は、職場向けに考案され、体を鍛え、筋力強化にポイントを置き、運動量も多くなっているという。第一だけでも十三種類の運動で四〇〇種類以上ある全身の筋肉を動かすプログラムになっている。ラジオ体操の効果は「筋肉をまんべんなく動かす」「体のきしみを除去する」効果があり、長く続け習慣化するといい。ラジオが普及していなかった当初は、郵便配達員が普及を始めたこのラジオ体操は、今年で九一年目を迎える。毎日たった十分のストレッチ、明日から始めてみてはいかがだろうか。筋肉がほぐれ、体が軽くなったら梅雨明けの景色が眩しく新鮮に見えるかも知れない。（都）

表紙の写真

「花咲く水辺」

第33回ふくしま緑の写真コンクール
銀賞
受賞者　菅野勝人さん（郡山市）
撮影場所：郡山市

編集　福島県
福島県内四森林管理署
福島県森林・林業・緑化協会
福島県森林組合連合会
福島県木材協同組合連合会
福島県農林種苗農業協同組合
ふくしま緑の森づくり公社
森林研究・整備機構福島水源林整備事務所
福島県森林・林業・緑化協会
発行　（福島市中町五番一八号県林業会館内）
発行人　水戸　典明
陽光社印刷株式会社
（定価　一〇八円）

お知らせコーナー

第16回ふくしま森林・林業写真コンクール 作品募集

森林の大切さとそれを支える林業の重要性を広く認識していただける作品を募集しています。

１　テーマ
下刈・間伐等の森林整備作業、木材の利用、特用林産物（炭焼き、きのこ栽培、漆等）、里山風景、森林レクリエーションなど福島県内の森林・林業に関するもの

２　応募資格
アマチュアで、作品は福島県内で撮影した自作の未発表の作品
なお、特別賞として高校生以下の部を設けています。

３　作　品
カラープリント、四ツ切・ワイド四ツ切（デジタル可）

４　応募締切
令和元年９月17日（火）（当日消印有効）

５　お問い合わせ先
公益社団法人
福島県森林・林業・緑化協会
企画管理室（TEL 024－573－0235）
作品応募の申込書は、協会のホームページ（https://www.fukurin-net.jp/）より、ダウンロードできます。

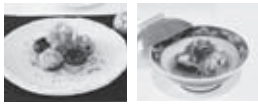
（作品募集案内）

第４回福島県きのこ料理コンクール 作品募集

きのこに対する正しい知識とその利活用の普及啓発に向けて、県産きのこを用いたオリジナルのきのこ料理を募集しています。

１　応募資格
16歳以上または高校生以上で、県内在住の方
応募は、個人（グループの場合は代表者）に限ることとし、一人１作品

２　応募条件
- 福島県内で生産されたきのこを使用している未発表作品
- 材料費は４人分2,000円以内で、調理時間は１時間以内



（第３回県知事賞）

３　日　程
応募締切　令和元年９月30日（月）（必着）
本審査（調理審査）
期日　令和元年11月16日（土）
場所　郡山市安積町「郡山市安積総合学習センター」

４　全国大会
最優秀作品は、全国大会へ県代表として出場

５　お問い合わせ先
公益社団法人福島県森林・林業・緑化協会
きのこ振興センター（TEL 024－947－2188）

備えのパートナー 森林保険

こんな災害からあなたの山を守ります。

1 火災
山火事で受けた損害

2 風害
暴風による根返り、幹折れなどの損害

3 水害
豪雨、洪水による埋没、水没、流失などの損害

4 雪害
大量の積雪による幹折れ、根返りなどの損害

5 干害
乾燥による枯死などの損害

6 凍害
凍結、寒風などによる枯死などの損害

7 潮害
潮風、潮水浸水などによる枯死などの損害

8 噴火災
火山噴火による焼損、幹折れ、埋没、根返りなどの損害

《保険の対象となる森林》
竹林や人手の全く入らない天然林を除き、面積が0.01ha以上であれば、樹種、林齢に加入制限はありません。

《ご相談・お申し込みは》

◆福島県森林組合連合会
TEL024-523-0255㈹

または最寄りの森林組合

イワフジの GP シリーズ

GP-35B グラップルプロセッサ

IWAFUJI INDUSTRIAL CO., LTD.

傾斜地に対応した全旋回チルトプロセッサ
・最大 38 度のチルト機能により傾斜地での作業性が大幅に向上
・全旋回ローテータにより油圧ホースが絡む心配不要
・サイドカッター解除機能により曲がり材に対応
・大容量油圧システムと強化型送りモータによるパワフルな送材

最新の GP-8 コントローラを搭載
・5.7 インチカラー液晶ディスプレイによる多彩な情報表示
・感圧式タッチパネル採用により操作性が向上
・A,B,C,D の 4 コード毎に 4 種類、合計 16 種類の測長設定値
・樹種を 4 種類登録でき、個別に測長調整値の設定が可能
・材積集計機能を標準で搭載

新開発のスタッドローラ（オプション）
・鉄輪の全周に装着された無数のスタッド（鋲）が材を強力に捉え、送りモータのトルクを伝えます。
・特殊形状のスタッドを一体化したシンプルな構造で、メンテナンスが容易

For the future with forest

イワフジ工業株式会社
http://www.iwafuji.co.jp/

（北関東支店） 福島県郡山市八山田 5-314
TEL 024-973-5166 FAX 024-973-5168
（本社・工場） 岩手県奥州市水沢字桜屋敷西 5-1
（支　　店） 札幌・東北・北関東・関東・中部・関西・九州

林業福島 七月号 通巻第六五九号
昭和四十二年二月二十四日第三種郵便物認可
令和元年七月一日発行（毎月一回一日発行）
監修 福島県農林水産部
編集発行人 水戸 典明
発行所 公益社団法人福島県森林・林業・緑化協会
福島市中町五番十八号 県林業会館内
定価一〇八円
年間購読料一、九〇〇円（税・送料込）

レインボー薬品の薬剤と資材

緑地管理の未来をひらく

わたしたちは、人と自然の調和を考えながら、より良い緑の環境づくりを目指しています

松くい虫予防薬剤
ヤシマスミパイン乳剤
スミパインMC
マツグリーン液剤2
グリンガード・NEO

くん蒸剤
ヤシマNCS

くん蒸用生分解性シート
くん蒸与作シート

ハチ退治
ハチノックL（巣処理用スプレー）
ハチノックS（携帯用スプレー）

レインボー薬品株式会社
東京都台東区上野1-19-10
お問い合わせ　TEL. 03(6740)7777
平日 9:00～17:00（土・日・祝日は休み）

ZENOAH®
人と共に　緑と共に

For Professional
BCZ275GW-DC
排気量 25.4cc

For Professional
GZ3950EZ
排気量 39.1cc
GZ4350EZ
排気量 43.1cc

ZHM1550RR
刈幅：1500mm　出力：27.5kW

SR3100
破砕径：200mm　出力：18.4kW

ハスクバーナ・ゼノア㈱ 福島県代理店
(有) うねめ林業機械
TEL(024)952-2657・FAX(024)951-7775 〒963-0211 郡山市片平町字新蟻塚108-1